

第 3 3 回 小野市地域公共交通会議 議事録

と き：令和 6 年 6 月 2 1 日（金）

1 3 時 3 0 分～1 5 時 2 0 分

ところ：小野市役所 5 階 特別会議室

第33回 小野市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 令和6年6月21日（金）13時30分～15時20分
2. 場 所 小野市役所5階 特別会議室
3. 出席者 会 長 藤原 博之（小野市副市長）
監 事 岡嶋 正昭（小野市観光協会会長）
委 員 木原 健太（神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官）
大山 儀光（兵庫県小野警察署署長）
⇒代理出席 藤原 正年（兵庫県小野警察署交通課長）
長尾 圭一郎（兵庫県北播磨県民局加東土木事務所所長補佐）
森前 泰二（小野市老人クラブ連合会副会長）
小林ふみこ（一般公募）
畑岡 孝弘（神姫バス(株)営業所長）
室谷 武彦（誠和運輸建設(株)代表取締役社長）
久野 実（西日本旅客鉄道(株)西明石統括駅加古川線区長）
宮井 勇人（神戸電鉄(株)運輸部部長）
藤井 秀明（北条鉄道(株)常務取締役兼総務企画部長）
藤本 寿希（小野市総合政策部長）
事務局 吉田 学、坪田 陸、藤原 麻紀
- 欠席者 監 事 末廣 育生（小野市地域振興部道路河川課長）
委 員 新屋敷昭一（（公社）兵庫県バス協会専務理事）
小幡 修司（神姫バス労働組合副執行委員長）
加門 昭三（（一社）兵庫県タクシー協会地域交通委員会委員）
オブザーバー 新田 博史（兵庫県土木部交通政策課副課長兼地域交通班長）

4. 内 容

(1) 開 会

(2) 協議事項

- ①令和5年度歳入歳出決算及び監査報告について
- ②令和6年度歳入歳出予算について
- ③「小野市地域公共交通計画」の評価について
- ④「小野市地域公共交通計画」に基づく令和6年度の事業計画について
- ⑤地域公共交通計画認定申請について
- ⑥「天神～電鉄小野駅」線の休止について

(3) 報告事項

- ①令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について

(4) そ の 他

(5) 閉 会

(開 会)

事務局 ただ今から、「第 3 3 回小野市地域公共交通会議」を開催いたします。
それでは、開会にあたりまして、小野市地域公共交通会議の会長である小野市副市長藤原よりご挨拶申し上げます。

会長 (開会のあいさつ)

事務局 (配布資料の確認)
(委員自己紹介)

会長 それでは、ただ今から会議次第に従って進行させていただきます。
まず、協議事項 1、令和 5 年度歳入歳出決算について、事務局より説明をお願いします。

事務局 (協議事項 1_令和 5 年度歳入歳出決算について説明) 資料 1

会長 続きまして、監事より、令和 5 年度の決算報告に係る監査報告をお願いいたします。

監事 (監査報告)

会長 それでは、協議事項 1 についてお諮りいたします。
協議事項 1 について、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。
協議事項 1 について、承認いたします。
引き続き、協議事項 2 について事務局より説明願います。

事務局 (協議事項 2_令和 6 年度歳入歳出予算について説明) 資料 2

会長 それでは、協議事項 2 について、ご質問等はありませんか。
無いようですので、協議事項 2 についてご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 それでは、協議事項 2 についても承認いたします。

続きまして、協議事項 3 及び協議事項 4 について、事務局より説明願います。

事務局 (協議事項 3_「小野市地域公共交通計画」の評価について、協議事項 4_「小野市地域公共交通計画」に基づく令和 6 年度の事業計画について説明) 資料 3、資料 4

会長 事業計画や評価についての説明でしたが、何かご質問やご意見はございませんか。

評価をご覧になって、評価の良し悪しなどは分かりにくい部分があるのではないかと思います。いかがでしょうか。

私もわからないところがありまして、例えば、資料 3-②の P. 13 路線バスの収支率について、数値目標値 53% に対して 59% に上がったのは良かったと思いますが、本来は運行経費に対する収入なので、その収入が 6 割ということが良かったと言えることなのか、まだまだなのか、神姫バス(株)さんご説明いただけますか。

委員 実際は、運行経費により収支が赤字の路線であることに変わりありません。国庫補助をいただいても現状は赤字路線になります。

会長 ありがとうございます。

やはり目標を上回ったからといっても、必ずしも良い数字であるとは言えないということですね。こちらで設定した目標を上回ったからといって、よかったというものではないということのようです。

他にご質問はありませんか。

各委員 (質問なし)

会長 計画の方も、令和 6 年度には新たな項目で交通のアテンダント配置の検討など、ハードルの高い目標もありますが、これについてのご意見等はありませんか。

委員 概ねコロナが明けて、世の中は回復基調の評価をされていますが、資料 3-②P. 8 の小野市内の公共交通利用者数が表すように、回復したといっても、コロナ前の 254 万人に対して 220 万人に留まっていて、恐らくコロナ前の数値まで戻るのは厳しいと言われています。

京阪神の大都市部の私鉄、路線バス会社でも、9 割までの回復となっていて、100% 戻らないことを前提に事業計画を立てないといけないような状況です。

戻っていくことは重要ですが、今後は更に増やす努力が大事です。これを継続しつつ、今まで利用されていない方がおられたら、公共交通の利用を心掛けていただければと思います。

会長 ありがとうございました。
目標値にはなかなか届かないのではないかというお話でした。
交通事業者の皆様は同様の印象をお持ちだと思います。
市としても、市民の方に利用していただけるように考えてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
戻りますが、先ほどの協議事項 3、4 についてご質問はありませんか。

各委員 (質問なし)

会長 最後一括して質疑応答の機会を設けますので、その際にご発言ください。
それでは、協議事項 3、協議事項 4 について承認していただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。
協議事項 3、4 は承認とさせていただきます。
それでは、次の協議事項 5 について、事務局から説明願います。

事務局 (協議事項 5_地域公共交通計画認定申請について説明) 資料 5、資料 6、資料 7

会長 ありがとうございました。
ただ今の説明で、皆様に何をどう判断していただくのかは難しいのですが、この会議で承認をいただき国庫補助申請をしなくてはならないので、説明させていただきました。
この件について、何かご意見等はございませんか。

委員 少し補足をさせていただきます。
これまで、幹線系統補助の申請資料の作成は兵庫県が行っていたのですが、今回から、“この地域でこのバス系統を維持するのだということをしっかり位置付けた上で、各市町から補助申請を行う”ようにルールが変わりました。ですので、これまでのフィーダー系統補助に加えて、地域間幹線系統(社〜三宮、社〜明石の 2 系統)補助についても交通会議で協議をしていただくことになっています。

資料 6、7 の数字は、バス会社だけが持っている数字を当て込んだものになります。

この補助金の年度は、国の会計年度よりも半年前倒しになっていて、令和 7 年度とは、令和 6 年 10 月から令和 7 年 9 月までの実績になります。始期の令和 6 年 10 月は目前ですので、このタイミングで会議に諮っています。

補助金については、赤字に対して国が約半分を負担し、残りは県と関係市町が負担します。

それぞれの市町で同じような会議が開かれ、同じような議論がされています。各地域で、この系統をどのように位置づけるのかを議論した上で申請していただくため、このように協議をしていただいているということです。

補足いただきありがとうございました。

会長

特に、神姫バスの路線については、なぜここで議論されるのかと思われた方もあるかと思いますが、神戸に行く手段は神戸電鉄と神姫バスしかございません。その中で今回の会議では、バスについて計画を立てて、皆様にご承認いただくことになるというご説明でした。

本件について再度お聞きしますが、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

無いようですので、協議事項 5 についてお諮りいたします。

ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員

拍手 ⇒ 承認

会長

ありがとうございます。

協議事項 5 については承認といたします。

続きまして、協議事項 6 について神姫バス様よりご説明いただけると聞いておりますのでよろしくお願いします。

委員

(協議事項 6_「天神～電鉄小野駅」線の休止について説明) 資料 8

会長

ありがとうございました。

本件については、沿線市である加東市の方でも廃止について承認されたということです。内容は、代替の路線があるということと、一部需要はあるものの運転手が不足して、他に投入する方が効率的だという話だったと思います。

本件について何かご意見やご質問はございませんか。

無いようですので、協議事項 6 についてお諮りします。

承認していただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。
 協議事項 6 は承認いたします。
 次に、次第 3 報告事項 1 を事務局から説明させていただきます。

事務局 （報告事項 1 __令和 5 年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について説明）資料 9

会長 ありがとうございました。
 報告事項を説明させていただきました。
 年間の利用者数の目標を達成出来なかったということでしたが、社会の情勢の変化や目標を立てた時と状況が変わってしまっていることがあり、今後地域内の公共交通を維持していく上で、どのように対応していくのかを述べさせていただきますところです。
 これについて、何かご意見等はございませんか。
 無いようですので、次第 4 その他にうつります。
 せっかくお越しいただいていますので、小野市の公共交通やそれに関する
 こと、普段感じられていることなど、ご意見をいただけたらと思います。
 〇〇委員、日頃お気づきのことなど何かありますか。

委員 最近では、70 才、80 才まで働く人も増え、クラブへの若い人の加入が
 少なくなって、会員数が減少し高齢化しています。
 クラブの活動をする上で、移動手段の減少と役員のなり手が問題とな
 っています。移動手段がなくなることを考えると、免許の返納も出来ない状
 態です。出来れば、病院や買い物だけでなく、高齢者の楽しみであるこだま
 の森や体育館へのらんらんバスの運行を希望します。
 また、年金生活者にとっては、デマンドバスやタクシーの利用に料金がか
 かるのが問題と考えています。

事務局 こだまの森を通るルートについては要望を聞いておりますが、他の路線か
 らの乗り継ぎやルート変更が必要ですので、次回のダイヤ改正時に検討した
 いと考えます。
 また、日曜日の活動であればデマンドバスが利用出来ますので、往復 20
 0 円の負担となりますが、検討していただければと思います。

委員 ありがとうございます。
 デマンドバスも検討したいと思います。

会長 老人会が高齢化で活動の維持が困難と聞いておりますので、何とか支援が出来るように考えていきたいと思います。

〇〇委員、何かございますか。

委員 私の住んでいる所は、らんらんバスとＪＲ加古川線があります。

買い物などには、らんらんバスは運行が少なく不便なので、河合西駅からＪＲを利用することが多いです。

らんらんバスのバス停は民家から離れていることが多いので、高齢者が利用しやすいように、もう少し民家の近くを通るルートを考えていただけないでしょうか。

事務局 バスルートやバス停の位置については、運行事業者や警察との協議を踏まえ、最終的にルート変更には陸運局の許可が必要となります。まずは利用者の安全が最優先ですので、出来る限りバスの乗降に安全な所、かつ運行に安全なルートを優先して検討しています。

このような要望については、ワーキンググループ会議で意見を聞き、変更が出来るところについては可能な限り対応したいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

委員 ありがとうございます。

会長 ありがとうございました。

集落内へ入っていくには、小型車での運行などの検討が必要ですので、今後の課題とさせていただきたいと思います。

次に、〇〇委員何かございますか。

委員 先ほど〇〇委員が仰ったようなことを実施するには、便を増やすしかないと思います。今の台数のままルートやバス停を増やすことは無理ですし、これ以上乗務員の業務をタイトに出来ないです。

らんらんバスの利用者１８万人というのは、よく健闘していると思います。その中で、一人当たりの公費の負担が２５３円だというのが問題で、もう数年すると、５００円、１０００円払っても無理なのではないかと危惧しています。

私は、数年前から運送業に加えて農業を始めました。働き手はありますが、育つ可能性のある人が減っているのが問題です。その中で、しっかりやる人がどれだけ人口比率の中にいるかが大事だと思います。

三木・小野・加東は適当な田舎だから良くて、この適当な田舎をいかに維持するかだと思います。

先ほどの三宮線、明石駅線の補助も農業を同じで、局地的に困っていて助

けてほしいから補助をとというのは無理なので、全体としてエリアで、改善を見込める所は継続しましょうということの表れだと思います。

先日も、西脇市以北では不動産が売れなくなっているという話を聞きましたし、物流は昨年、一昨年と比較して10%、15%物量が落ちています。住宅関係の材木も、昨年と比べると半減しています。

人口の減少も課題です。住んでいる人口をいかに増やすか、また商用、観光で来る方を、経済的にも交通機関を維持するためにも、いかに増やすかを考えなくてはならない。

また、現役世代が出て行って、親だけを残していることが大きな問題で、同一世帯で2世代、3世代が一緒に住んでいる人を優遇する施策を考えないといけないと思います。

そのようなこともやりながら、〇〇委員が仰った様に、思い切ってらんバスをあと3、4台増車し、内容を濃くしてバス停も増設して利用度を上げてもらいたい。都市部からは、三宮からの路線バスで市内のバス停へ、またJR、神鉄の駅まで来れば小野は便利だ、という状況を作ることだと思います。

それと同時に、こだまの森への運行、西回り循環、東回り循環を作っていただきたいと考えています。このようなことを今やらないと、小野市のドーナツ化も進むことになると思います。

また、産業団地や工業団地に来る大型車両が停車出来る場所を市内に作ることも考えていただきたいです。

会長

ありがとうございました。
事務局から何かありますか。

事務局

貴重なご意見をありがとうございました。

交通に限って申しますと、〇〇委員が仰ることはごもっともで、小野市に住んでいただくには市内の移動手段が欠かせません。今は自動車免許をお持ちの方が多くいますが、年齢とともに免許を返納しなくてはならなくなったり、元々免許を持たれない方がいらっしゃいます。

小野市にはJR、神戸電鉄、北条鉄道の3線があり、そこから2次交通として市内をいかに移動させていくかというのは、住みやすさに直結すると考えます。いかに幹線から郊外へ人を運ぶかということは、交通施策として重要な課題だと認識していますので、当然コミュニティバスの増車も考えています。

一方で、時刻表に運転手の募集広告を載せているように、運転手不足が本当に悩ましい問題ですが、増車に合わせて運転手を増やすことで、市内の移動手段を充実させていきたいと考えています。

会長

事務局の答弁のとおりです。

先ほどから、まちづくりや人口減にどう対応するかということについて仰っていただきましたが、もっともなご意見です。

今、全国各地でそれに対応して、コンパクトシティ化を実施されているところが多くありますが、うまくいかないのです。無理をして進めると誰もついてきません。

小野市は幸いにも、コンパクトシティ化をするほど市域が広くないので、市内で便利に動ければ、それが自動的にコンパクトシティになるので、便利に動くことを進めていくことにかかっています。

中には人手の問題等がありますが、今進んでいる自動運転等色々な技術が出てきますので、そういうことも踏まえながら、皆様のお住いの所で、いかに便利な所に簡単に来られるようになるかがまさに交通施策になりますので、鋭意努力をしながら進めてまいりたいと思います。

他に、〇〇委員、交通事業者でPRされたいことなどありませんか。

委員

ありがとうございます。

このような公共交通の会議に参加させていただいて、活性化にどのように繋げていくかの諸策を色々お聞きしたいのですが、実際は、計画の中にはイベントの情報を発信していくという項目だけになっていますので、例えば神戸電鉄さんとどのような連携を取られるのかとか、JR加古川さんとどのようにされるのかなどを知りたいと思っています。

昨日の近畿運輸局の会議でサイクルトレインの話があり、地域性ということであれば採用していかないといけないなという話をしたのですが、実際は安全性を求められるので、出来ない部分もあるということでした。そのような新しい取り組みもしていかななくてはいけないという思いは、鉄道各社持っていらっしゃると思いますが、毎日の安全運行が最優先されるので、そこに及ばないところはあります。

イベントについては、ポスターやチラシの掲示、ホームページやSNSで発信していますので、観光で来られる方は増えていると思います。当鉄道もお客様は増えています。

当鉄道には、小野高校への学生も多く乗っておられるので、非常にありがたいと感じています。

会長

ありがとうございました。

我々が北条鉄道を利用することは少ないかもしれませんが、加西方面から来ていただくのに大事な路線となっていますので、今後ともよろしく願いいたします。

最後に〇〇委員からお願いいたします。

委員代理 コミバス、鉄道等、地域の交通を活性化しようとするこのような会議が開かれていて、行政も大変かと思っています。

私共としては、安全に交通を回していくということが一番の目的となります。

地域ごと、山間部や住宅地にバスを通していくことは、地域に住む方にとっては、利便性も含めて非常に重要な問題だと感じました。一方で、交通事業者、行政側も、安全性が確保出来なければということもよくわかるので、非常に悩ましい問題だと思います。

便利なのはマイカーですが、高齢化で安全性の低下が懸念されるので、免許を返納し、安全な公共交通機関を利用していただくために、今後もコミバス等の充実を進めていただきたいと思います。

より住みよい小野市にするために、私共も安全性に配慮しながら協力していきたいと考えています。

会長 貴重なご意見ありがとうございました。

他に何かご意見ございますでしょうか。

無いようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。

会議の円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

司会進行を事務局へ返します。

事務局 委員の皆様、長時間にわたるご審議、そして貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。

本日の会議でご説明しました公共交通計画に基づく事業をはじめ、市民の皆様のための交通施策に取り組んでまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

以上をもちまして、本会議を閉会とさせていただきます。

長時間ありがとうございました。

(閉 会)